

3 学期始業式

明けましておめでとうございます。

昨日は、大阪で新型コロナウイルス感染者数が過去最多の 560 名となり、なかなか沈静化しない不安な日々が続いているが、私たちができる最善の予防対策を講じてこの 3 学期も乗り越えていきましょう。

今年は丑年です。丑は十二支の中で 2 番目の干支になりますが、ちなみに十二支は言えますか。ネ、ウシ、トラ、ウ、タツ、ミ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イですね。

十二支がどのように決まったかというと、諸説ありますが、その一つをお話します。昔、神様が「元旦に挨拶に来た 12 番目までの動物を順番に、1 年間その年のリーダーにしよう」というお触れを出しました。歩みが遅いウシは誰よりも早く前の日の晩に出発するのですが、神様の御殿の門が開いたとたん、ウシの背中に乗っていたネズミが飛び下りてネズミが一番になりました。残念ながらウシは 2 着となり、2 番目になったということです。この話からもわかるように、当時からウシはのんびり真面目なイメージがあったのかもしれません。

みなさんもウシの姿を想像してみてください。広い牧草地で草をモグモグ食べているのんびりした姿が思い浮かぶのではないでしょうか。でも、実はとても力持ちで、昔から荷物を運んだり田畠を耕したりと人々の生活に欠かせない動物で、勤勉でよく働くその姿が“誠実さ”を象徴し、縁起の良い動物として十二支に加えられたとも言われています。

丑年のこの一年は、先を急がず一步一歩着実に物事を進めることが大切だと言われています。すぐに結果を求めるのではなく、結果につながる努力をコツコツと積み上げていく時期とも言われ、丑の年は黙々と目の前の事をこなすことが将来につながると考えられています。

3 年生は、迫ってきた入試・進路決定を、5 年後 10 年後の自分の夢や目標を実現するためのファーストステージと考え、最大限の準備を怠りなくしてください。

また 2 年生の学年だよりも書かれています 1 年生 2 年生は、この 3 学期が 2 年 3 年へ進級する準備期間（0 学期）と考えてください。去年の反省点をふまえ、自分の課題・目標に向かって計画を立て努力を積み重ねる時だと考えて学校生活を送ってください。

最後に、一生懸命中学校生活を過ごしているみなさんに流通評論家 吉田卓雄さんの「夢八訓」を紹介します。

夢のある人は 希望がある
希望のある人は 目標がある
目標のある人は 計画がある
計画がある人は 行動がある
実績がある人は 反省がある
反省がある人は 進歩がある
進歩がある人は 夢がある

「夢」のサイクルがひと循環して、そのスケールがひと回りもふた回りも大きくなって、また「夢」の振り出しに戻ってくる… このステップをたゆまず一歩ずつ着実に実践していく、真の自己実現に近づいていけるようにがんばってください。

この一年がみなさんにとて素晴らしい年になるように、またみなさんの成長がこの長吉中学校をより魅力ある学校にしていってくれることを願っています。

以上で始業式の話を終わります。